経済学がもっと面白くなる〈情報＆メッセージ!〉

北海学園大学 経済学部報
【エコン】
2018.冬・春号

econ.

No.37

特集 経済学部で“先生”になる！

●座談会「卒業生＆現役学生が語る、学部での学びと教職の現場」

news 3 基礎ゼミフロンティア講座
（8 ページ）

news 3 経済学部プレゼン大会
（8 ページ）

連載column
From a Distance ❾
小林淑憲先生（8 ページ）

news 1
2017年度 地域研修報告会
（4 ページ）

連載企画
研究室の窓から
佐藤敦紘先生（5 ページ）

news 2
特別講演会「税・財政の現状と課題」
（6 ページ）

news 2
北海道学生研究会SCAN
（6 ページ）

news 2
2017・2018学生就職情報
（6 ページ）

連載 interview
OB訪問－働きマン⑳
桂田泰宏さん（7 ページ）

特集 経済学部で“先生”になる！

座談会「卒業生&現役学生が語る、学部での学びと教職の現場」

本学部では、中学・高校の教員免許が取得できる教職課程が充実しています。また、夜間に講義がある２部の学生も、１部と共通の教職科目を履修できるなど、本学部の教職課程は多くの学生に広く門戸が開かれているのが特徴です。今回は、経済学部から中学校の社会科科目の教職に就いた卒業生と、卒業後に教師を目指す学生のあわせて４名に、教職課程での経験や教師という仕事について語ってもらいました。

司会
●宮島良明先生

●野々川華奈さん
H22年度Ⅰ部卒、H24大学院終了、札苗中学校勤務

●堀米雅樹さん
H22年度2部卒、八雲中学校勤務

●腰越雅敬さん
2部地域経済学科4年

●木村拓貴さん
Ⅰ部地域経済学科3年

●荻原克男先生
教職課程担当

■経済学部で取得できる教員免許状の種類と教科

	免許状の種類	教科
経済学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史、公民・商業
地域経済学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史、公民
大学院経済学研究科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史、公民・商業

“先生”という大変で幸せな職業

宮島　最初に、教師を志した動機を教えてください。まず、教職に就いた堀米さんと野々川さんから。

堀米　僕は小中高校と、学校という場が大好きで、「教師ってどんな仕事なんだろう」と思ったのがきっかけです。ほかの道と迷った時期もありましたが、教育実習で決断しました。

野々川　私も小中学校のときの先生の影響が大きいですね。授業以外でも気さくに話を聞いてくれて、自分も教師になりたいと思いました。でも、大学ではもっといろいろと勉強したくなり大学院へ進みました。研究テーマは「教員の労働」でした。現場の先生にインタビュー調査を行うと、「忙しいけれど、すごくやりがいがある」と答えるんです。これは現場でしかわからないと思い、研究の調査対象でもある教師になりました。

宮島　では、学生の腰越さんと木村さんは？

腰越　私の場合、社会人から２部に入学しました。今45歳です。高校卒業後企業に勤め、その後は飲食店を経営するかたわら、大学のアイスホッケー部のヘッドコーチを務めました。現在も小学生のアイスホッケーチームを指導しています。昔からの夢だった教師になろうと決意したのは40歳のとき。小学生を指導するなかで、子どもたちを尊敬するようになってきたのを感じ、今ならまだ教育に携われるのではないかと思いました。年齢的にも最後のチャンスだと、思い切って教師への道を選びました。

木村　僕は中学、高校と、部活の顧問の先生の影響が大きいです。高校の先生は、僕が教師を目指しているのを知っていて、「一緒に部活を教えないか」と声をかけてくださいました。生徒が成長する現場を目の当たりにして、「教職１本でいく！」と決め、現在にいたっています。

宮島　教職課程の履修では、どんなところに苦労しましたか？ また、教職に就いて

荻原克男教授に聞く！
“教師になるために” Q&A

Q1 教員養成大学ではなくとも、教員になれるのですか？ 不利ではないですか？

A1 不利ということは全くありません。その証拠に、教員として活躍している本学卒業生の数は延べでゆうに1000人台にのぼります。特に社会科では、校長や教頭などの管理職になっている方々も大勢います。北海道内ほとんどの中学・高校で、本学を卒業した優れた先輩教師に出会うことができます。

教員になるまでには大きく2つの関門があります。第１は教育職員免許状を取得すること、第２は各県の教育委員会が実施する教員採用検査に合格することです。学部卒業に必要な単位に加えて教職課程を履修することで免許状の所得が可能となります。経済学部では中学の社会科、高校の地歴・公民および商業*（**経済学科のみ**）の免許状が取得できます。免許資格が無いと第２関門の採用検査を受けられませんから、これは必須条件。そこから先は採用検査の結果しだい。各人の努力と熱意が最後の決め手です。卒業した大学が教員養成大学か否かは問題になりません。

写真上：毎年多数が参加する新入生のための教職課程ガイダンス、写真下：本学卒業生の現役教員や教員志望学生が参加して行われる研究会

から苦労したことは？

木村　教職の授業は基本的に夕方から夜の時間帯にあります。とくに１年のときは語学などの基礎教科もあったので、朝９時から夜９時までびっしり授業でした。その分テストも多いし、どう勉強しようか悩みました。

野々川　私も同じ。４年間アルバイトもせず勉強に集中しました。食事も授業の合間にとらなくてはならなかったので、短時間で食べる能力は身につけました（笑）

堀米　僕の場合、採用試験に受かるまでの３年間、高校で非常勤講師をしていましたが、採用試験勉強と教師の仕事を両立させるのは難しかったです。正規の先生とまったく同じ仕事をしていたので、忙しくなってくると試験勉強に手がまわらない。だから仕事が終わってから毎日２時間勉強すると決めて取り組み、合格できました。

腰越　たった３週間の教育実習でも、昼休みを１時間なんてとれず、先生って本当に大変だな、と実感しましたね。でも、とても幸せでした。

木村　部活の顧問の場合、朝７時から朝錬、夜の練習も週２回夜９時半まである。週１回休みですが、先生は休みではありません。僕は「なぜ、そこまでするんですか？」と先生に聞いてみたんです。すると「生徒が成長する姿を一瞬でも見られたら、今までの苦労も忘れられる」とおっしゃって。

野々川　忙しくて大変でも、楽しくて苦に感じないんですよね。たとえば、書類を作るような仕事だったら苦痛かもしれないけれど、生徒と関わる仕事だからやっていける。先生って特殊な職業かもしれません。

学部での学びが、教育の場で生きる

宮島　これから教師を目指す学生へアドバイスするとしたら、どんなことですか。

野々川　教職課程の勉強だけでなく、今、経済学部で専門的に学んでいることを大事にしてほしい。中学では地理・歴史・公民を教えていますが、「大学でこんなことを学んできたんだよ」と実際に体験したこと

Q2 どのような勉強が必要でしょうか。具体的に教えてください。

A2 まず、取得したい免許状の教科に関する専門科目を20単位以上履修する必要があります。これは学部の卒業単位にも換算されます。それに加えて、教職科目を39単位履修します。この部分は教職履修者だけに課されるもので、その分だけ他の学生よりも多くの勉学が求められます。将来教壇に立ったとき生徒にしっかり向き合える力を養うためです。また、実践的な力を身につけるため、教育実習のほかに学校インターンシップなどの学習機会も用意されています。

■1･2年の履修科目

- 教職入門
- 教育学概論
- 学校と教育の歴史
- 教育心理学I
- 教育心理学II
- 学校教育心理学
- 教育社会学
- 教育行政学
- 教育課程論
- 道徳教育指導論
- 特別活動の指導教育方法論
- 各教科教育法
- 生徒指導
- 教育相談

■3･4年の実習･演習

- 教育実習
- 教育実習実践指導
- 介護体験実習
- 中･高校教育実習
- 中学校教育実習
- 教職実践演習
- 教職実践演習（中･高）

Q3 学部の履修と重なり負担にはならないでしょうか？

A3 より多くの単位履修が求められる点では確かに簡単な途ではありません。でも、これまで多くの先輩たちがこのハードルをクリアして、教員への途を歩んできました。学部の専門科目と重ならないように、学生の所属にかわりなく1部と2部のどちらでも教職科目を履修できる工夫がなされています。たとえば、2部の学生でも1部開講の教職科目を取ることができます。こうして4年間でちゃんと免許所得が可能な仕組みになっています。

を話すと、生徒も「へぇ～」と興味を持って聞いてくれます。教材研究にも専門分野のエッセンスを取り入れるなど、せっかく学んだ経済学を、教育大学出身の先生たちとは異なる強みとして生かしたいと思っています。そして、本をたくさん読んでおいたほうがいい。今は、読みたくても全然時間がないので。

木村　僕はゼミでの経験が役に立つと思います。地域研修では、自分の足で現場に行き、話を聞いて感じたことを、さらに自分の言葉にしなくてはならない。教職とは直接関係ありませんが、その経験がきっと力になるはずです。

宮島　経済学部をバックボーンとして、学生時代に幅広い知識や経験を身につけたほうがいい、ということですね。

堀米　僕の場合、昼間働いて学費を払っていたので２部でしたが、この大学の２部に入学できたことは、とてもラッキーでした。本学部に入学したことで教職課程を履修し、教員免許が取れましたし。なんといっても、２部の場合、学費が国立大学よりも安い。しかも１部と同じ４年間で卒業することができるし、がんばれば４年間で教員免許も取れます。

腰越　私も教師になろうと決めてから、全国の大学をいろいろと調べましたが、この大学は、今言われたように２部の学費が安くて、カリキュラムは１部と同じ、卒業後の経歴も１部と２部の区別がないということで、全国に数ある大学の中でも一番いいと思いました。

宮島　２部で教員免許が取れることはあまり知られていないようですが、１部と同じように教師を目指せるのは、社会的にも意味がありますよね。では最後に、今後の抱負やメッセージをお願いします。

木村　先生方のナマの声を聞いて、学生のうちにしかできないことをやり、自分の引き出しを増やして教師になりたいと思いました。

腰越　教員採用試験のとき、経済学部の講義の資料が大変役立ちました。大学で学ぶことひとつひとつが大事だと、これから教師を目指すみなさんにも伝えたいです。

野々川　私が大学で一番影響を受けたのはゼミでした。ゼミでは人との関わり方など、座学では学べないことをたくさん学び、その経験が教師になってから役立っています。学生のうちに、いろんな職業のいろんな分野の人と出会うことを大切にしてください。

堀米　中学にも高校にも、楽しくていい先生がたくさんいます。ぜひ、学校で待っています！

教職課程学内研修会

教育実習の様子

左から宮島良明先生、木村拓貴さん、腰越雅敬さん、堀米雅樹さん、野々川華奈さん、荻原克男先生

econ.News 1

[平成 29 年 11 月 25 日・12 月 2 日] 1 部ゼミナール・2 部ゼミナール

地域研修報告会が開催される

今年度の地域研修の総まとめに当たる地域研修報告会が2日間にわたり開催され、延べ24ゼミが研修成果の報告と質疑応答に臨みました。

地域研修は2年次以降のゼミナール所属学生が履修する講義で、フィールドワークを通して現実の生きた経済、社会を学ぶことを狙いとしています。

学生たちは、春から調査テーマの設定、各種資料の収集・分析などの事前学習に取り組み、夏から秋にかけて現地に足を運びました。栃木、群馬、静岡、三重、高知など道外に飛び出したゼミも数多くありました。

報告テーマは農業、林業、水産業、エネルギー、観光、労働、公害などバラエティに富んでいました。なかには数日間の研修とは思えないほど密度の濃い報告をするゼミもありました。学生たちも大いに刺激を受けたようです。他方で、問題意識が不明確な現地視察記にとどまったり、説得力のある情報をうまく示すことができなかったりする報告もみられました。

地道にデータの収集と分析を積み重ねることが、説得力のある報告へとつながります。地域研修が実り多き経験となるよう、学生たちにはさらなる奮起を促したいと思います。（早尻）

研究室の窓から

まずは疑え！ 騙されない、騙させないためにできること

佐藤 敦紘 経済学部准教授
さとう あつひろ

［専門は応用ゲーム理論］ 愛知県出身。博士（経済学）同志社大学。同志社大学経済学部助教を経て2017年4月より現職。
●近著に、"Maximin and Minimax Strategies in Two-Players Game with Two Strategic Variables", 2017, forthcoming in *International Game Theory Review*.

専門家は常に正しいとは限らない

半年前に次のような経験をしました。自転車のタイヤがパンクしたので家の近所の自転車屋で修理を依頼したところ、チューブが劣化していて交換が必要だと説明されました。何も疑うことなくその場で交換を依頼し、すぐに修理が完了しました。しかし後になって考えてみると、以前に別の店でチューブを交換してからそれほど時間が経っていないように思い、本当に劣化していたのかと疑いました。以来その店を訪れていません。

つい先日には次のような体験談を聞きました。ある人が手の指を骨折して手術を受けたのですが、術後に今度は隣の指が動かなくなってしまったというのです。どうやら腱が損傷したようで、医師からは起こりうる症例だと説明を受けたようです。当然ながら新たな治療のためには追加的な処置や費用が必要となります。その方は医療ミスを疑ったようですが、それを明らかにするだけの知識や時間の余裕はなく、どうにも納得できないまま治療を続けたそうです。

これらの事例に共通しているのは、サービスを供給するのは専門家で、消費者は自分が需要するサービスについて充分な知識を持っていないということです。このような状況を経済学では情報の非対称性と呼び、ゲーム理論を用いた分析が盛んに行われきました。ただし、事例のようなケースは情報の非対称性が深刻であり、まだ充分に研究が進んでいません。

ここで情報の非対称性が深刻であるというのは、消費者が専門家からサービスを受ける前だけでなく、受けた後でもそれが適切であったのかを判別するのが困難ということです。専門家によるサービスの供給は消費者に対する診断と処置という二段階に分けられます。一つ目の事例は消費者である私が自転車屋の診断が適切であったのか判別できない状況に対応します。本当はチューブの交換は必要でなく、パンク穴を塞ぐ程度の処置で充分だったのかもしれません。しかしチューブを新しいものに交換すれば当然ながらパンクの問題は解決します。二つ目の事例は医師の処置が適切であったのか患者が判別できない状況に対応します。本当は医療ミスがあったのかもしれません。さらに、これらが合わさったケースも考えられます。私は自転車屋の修理工程を自分の目で見ていましたが、もしもそれを見ておらず、さらに修理の後にタイヤを外して実際にチューブが交換されているか確認しなかったならばどうでしょう。本当はパンク穴を塞ぐだけで充分なのに、チューブ交換が必要だと診断され、相応の金額を支払っておきながら、実際にはパンク穴を塞ぐだけの処置しか行われなかったという可能性も考えられるでしょう。

以上のように、消費者がその品質を事後的にも判別するのが困難なサービスは信用財と呼ばれています。サービスなのに信用財というのはおかしいと思う方もいるでしょうが、慣習的な用語なので気にしないでください。財としての信用財も存在しますが、現在は事例のような修繕サービスとしての信用財を主に研究していますので、ここではそれを紹介しています。[*1]

虚偽を働かせないために

ところで、なぜ学界で信用財の研究が充分に進んでいないかというと、その特徴から理論と実証どちらの分析にも困難を抱えているからだと私は考えています。理論分析の焦点は、専門家が消費者に対して適切ではない虚偽の診断や処置を行うインセンティブをいかにして解消できるかです。短期の取引を中心に扱う従来の分析では、専門家に対して充分な規制が課されていない環境ではそのようなインセンティブを全く解消できないと結論づけていました。しかし現実に目を向けると、どんな環境であれ消費者に対して誠実に向き合い、適切にサービスを供給する専門家もたくさんいるように思えます。このことを従来の短期分析では説明できませんでしたが、私は繰り返しゲーム理論を用いてより現実的といえる長期の取引を分析し、専門家が自分の評判や他の専門家との競争を考慮するがゆえに、虚偽を働くインセンティブが解消されうることを示しました。ただし、虚偽を働く専門家が存在する可能性を排除できたわけではありません。そのインセンティブを少しでも弱めるためにいかなる制度設計が必要で、それらが経済に与える影響はどの程度かといった研究を続けています。

理論分析以上に困難なのが実証分析です。専門家の行動を検証するのに必要なデータが日本では全くと言っていいほどそろっていないからです。すでに諸外国では様々な実証分析が行われており、専門家の虚偽によって発生する非効率や損失の大きさは相当なものであることが分かっています。日本でも同様の分析を行うために、関連するデータの整備が待ち望まれています。

専門家に虚偽を働かせない制度設計はもちろん重要ですが、消費者である私たちが専門家に騙されないことも重要です。そのために勉強を続けて専門的な知識を身に着け、アンテナを張り巡らして情報を収集するのは大変な労力が必要です。しかしすぐにでもできることがあります。それは専門家を疑ってかかることです。世の中にはここで紹介した事例以外にも弁護士、税理士、建築士など様々な専門家が存在します。経済学者も専門家の一人です。私がここで書いたことから疑ってみるのが良いかもしれません。[*2]

研究室での質問受付の様子。ちゃんと教えているのか疑ってかかるのも大切です。

*1 財としての信用財を参考までに紹介すると、産地が表示された食品はその代表例と言えます。ラベルに国産牛と表示された牛肉を食べた後で、それが本当に国産牛であるか判別できる消費者はほとんどいないでしょう。食品の産地偽装はメディアでたびたび取り上げられています。

*2 実は自転車屋さんでの経験は10年も前のことです。手術の体験談を聞いたのは2年前です。この程度の虚偽ならかわいいものでしょうか？

［平成 29 年 11 月 27 日］1 部 財政学Ⅱ特別講演会

『税・財政の現状と課題』

本年度も 11月27日㈪に、財務省主税局調査課課長補佐の和田弘之氏を講師にお迎えし、『税・財政の現状と課題』というタイトルで、講演会を開催しました。毎年のことですが、この時期は、来年度の税制改正に関する議論が行われる「税の季節」にあたります。したがって、本講演会は、財務省で税制改正議論の最前線で活躍されている和田氏から直接、税に関するお話を伺うことが出来る、たいへんタイムリーな企画となりました。ご講演では、税収、歳出、公債発行額や政府債務残高の推移等からわが国財政の実態の把握となぜそうなったのかを簡単に分析された後、消費税、所得税を中心に、その基本的な仕組みと課題を、さまざまな資料を提示されながら、丁寧に解説をいただきました。約100人が受講しましたが、受講後の感想によりますと、講義とあわせて税への理解がさらに深まった、税は整理しながら勉強しないと混乱しそうだ、残念ながら時間の都合で省略されたお話も聞きたかった、などの感想が寄せられました。また、ご講演で少しだけ触れられた諸外国で導入された新税（健康税など）にも関心を持ったようです。和田氏をはじめ、講演会開催にご尽力いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。（野口）

［平成 29 年 11 月 15 日］

北海道学生研究会 SCAN に参加

2017年11月25日㈯、札幌大学において、北海道学生研究会（SCAN）主催の第8回合同研究発表会が行われました。本学部からは、大貝ゼミと宮島ゼミの２チームが参加しました。

大貝ゼミは、「地域経済の発展と可能性について」というテーマで、岩見沢市と四万十町（高知県）の事例比較から、地域活性化に関する研究発表が行われました。最後には、「＜米＞から始まる＜コメ＞ニケーション」というユニークな政策提言がなされました。

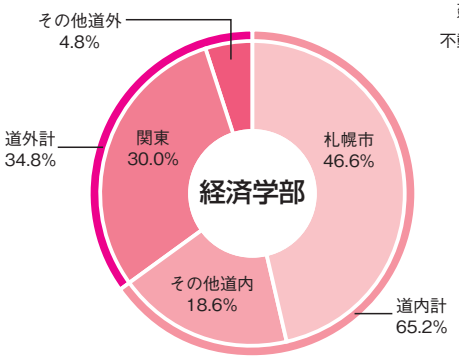
宮島ゼミは、「なぜ、観光客は『岩見沢』ではなく、『小樽』に行くのか」をテーマに、大都市近郊の地方都市のインバウンド戦略に関する研究発表が行われました。そこでは、小樽と比較して、札幌から同程度の距離（時間）に位置する岩見沢の観光入込客数は、現在、小樽の7分の1程度であるため、体験型の観光メニューの開発など、現在、増えつつある外国人観光客をターゲットにした新たな戦略により、入込客数が増える可能性があるとの提言が行われました。（宮島）

2017・2018年学生就職情報

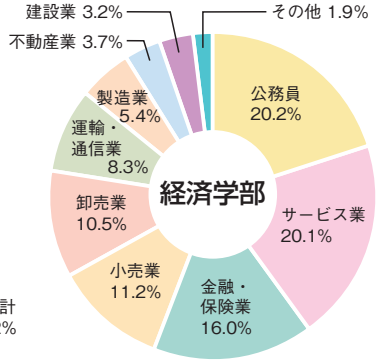
2018年本学卒業予定者の就職活動は、ここ数年、全国的に学生有利の売り手市場の状態が続いている中で好調に推移しました。また、来春卒業予定の３年生を対象としたキャリア支援プログラムの一環である学内業界研究会が昨年11月から始まりました。

2月5日と6日には、３年生を対象としたキャリア支援イベント「LIVE Voice」が行われました。これは、企業とその企業から内定を得た４年生の双方からその企業の最新の情報を得て就職活動準備に役立ててもらおうという趣旨の下、キャリア支援センターが毎年企画し行っています。

本社所在地別就職状況



業種別就職状況



過去3ヵ年の主な内定先

企業名	人数
北海道職員	37
日本郵政グループ	26
国家公務員一般職	24
札幌市役所	20
北海道警察	18
マックスバリュ北海道	13
北海信用金庫	12
北洋銀行	11
札幌市消防	10
教員	10

［経済学部のみ］　※公務員は合格者数

※表・グラフは平成29年3月31日現在の状況

2 月 5・6 日に学内で行われた３年生対象のキャリア支援イベント「LIVE Voice」

［OB訪問］

働きマン 20

困難を乗り越えられたのは、サッカーで鍛えた強靭な心身があったから。

桂田 泰宏さん
かつらだ やすひろ

大学時代（S36、右端が4年の桂田さん）

学生時代、サッカーに打ち込んだ桂田泰宏さん。卒業後は楽器メーカー勤務を経て、自ら会社を設立。さまざまな苦難を乗り越えながら、80歳の今も会長職として活躍しています。

◀半生を振り返ってまとめた自分史を出版

日本領南樺太で生まれ育って

青果の仲卸業「東央産業」の会長を務める桂田泰宏さんは、昭和12年、当時は日本領だった樺太（サハリン）南部の生まれ。戦後3年間の抑留生活を経て、10歳で日本に引き揚げてきた経験を持つ。

帰国後は親戚が住んでいた室蘭に家族とともに移り住み、先生の勧めで中学校からサッカーを始めたという。室蘭栄高校に進学後は全道インターハイの決勝戦まで勝ち進むほど実力をつけ、卒業後は就職を望む両親の反対を押し切って、北海学園大学に入学した。

「北海学園のサッカー部のマネージャーから『ぜひ来てほしい』という手紙をもらったんです。親は反対しましたが、長兄や姉が学費を援助してくれて、なんとか進学できました」

当時の北海学園大のサッカー部は、大学選手権で全国大会まで駒を進める強豪校。苦学生の桂田さんは遠征費を稼ぐために、２年生のころから夜間キャバレーでボーイのアルバイトを始めた。

「私が学費や生活費で苦労しているのを知った社交さん、今の言葉だとホステスさんの一人が、安く住めるからと実家で営む下宿を紹介してくれました。それで引っ越した先に、運命の人がいたんです」

下宿を切り盛りしていたのは、誘ってくれた女性の妹さん。卒業後に結婚することになる奥様との出会いだった。

教員を蹴って民間企業に就職

大学時代はサッカーとアルバイトを続けながら、教職過程を履修して教員免許を取得した。イチかバチかで石狩管内の教員採用試験を受けたら見事合格。しかし、悩んだ末に教員にはならず、河合楽器製作所に就職を決めた。

「高度経済成長期、民間企業の給料の方がうんと高かったんです。それに河合楽器の本社は静岡県の浜松市。サッカーがさかんな土地だし、道外に出れば全国の大学からくる人たちとも切磋琢磨できる。そんなチャレンジ精神でした」

入社式では技術系を含む新入社員320名の総代として挨拶をした桂田さん。本社での研修を経て北海道支店の経理部に配属され、全道に点在する営業所の監査を任された。

「当時は営業所ごとの独立会計で経理がずさん。なかでも釧路がひどくて、お前が行って立て直せと、最年少で釧路営業所の所長を任されました」

大学で学んだ簿記を活かして会計をチェック。営業所内の不正をただすと同時に、管内の幼稚園をくまなく回って「音楽教室をやらせてください」と営業活動。教室とオルガン販売の相乗効果でトップの営業成績を上げ、釧路駅前の土地を購入してショールームを建てるほど成功を収めた。

会社を辞めて自ら起業

その後、北海道支店に戻って全道の営業所を総括する立場となったが、思いがけなく本社の経理部に戻れとの辞令が届く。

「札幌に家も建てたし、３人の子どもにも恵まれて…。住み慣れた北海道で暮らしたいという気持ちが強くなり、会社を辞めることにしたんです」

その後、知人と協力してマットレス製造の会社を立ち上げたり、地域の小中学校のPTA会長として札幌市議会議員の選挙運動を支援したりと幅広く活動していたところ、古巣の河合楽器から「関連会社をつくらないか」と声がかかり「株式会社かつらだ楽器」を設立。楽器販売と音楽教室の運営を手がけることになる。

さらにその後は、市場で仕入れた青果を取り扱う仲卸業「株式会社東央産業」も創業。その後、楽器販売の事業はたたんだものの、仲卸業の経営は息子に引き継ぎ、今も会長職として責任の一端を担っている。

サッカーを人生の友として

「私はサッカーがしたくて大学に入ったようなもの。経済８期ですから、当時はまだ全国的には名の通ってない大学でしたけど、だからこそ『負けてたまるか』という精神を育めたように思います」

そんな桂田さんの元気の源は、中学から続けているサッカーだ。後輩にあたる北海学園大サッカー部の支援はもちろんのこと、自ら社会人チームに所属してプレー。80歳の今もサッカーで汗を流す日々を送っている。

「サッカーを通してたくさんの仲間ができました。年齢も大学もさまざまですが、サッカーを愛する仲間との交流が、私という人格形成に大きな影響を与えてくれたと思います。ですから、学生の皆さんにはぜひ生涯続けられる趣味を持つことをお勧めしたい。人生を支える柱になってくれるはずです」

去年、満80歳を迎えた桂田さんは、自身の経験を家族に活字で残したいと自分史の出版を決心。半年間の編集作業を経て渾身の一冊が完成したばかりだ。

「振り返ってみると、運と出会いに恵まれた人生だったと思います。困難な時期もありましたが、サッカーで鍛えた足と精神力で乗り越えることができました」

いまも大学同窓会の幹事を担い、ホームカミングデーでは青果販売の「北海マルシェ」を担当する桂田さん。私たちが目標とするべき人生の大先輩である。

profile

1937年　樺太生まれ
1957年　室蘭栄高校卒業
1961年　本学経済学部卒業（経済8期）
1961年　株式会社河合楽器製作所に入社
1977年　会社を退社し、政治運動に没頭
1979年　株式会社かつらだ楽器を創業
1994年　株式会社東央産業の社長に就任、現在会長職

[平成 29 年 11 月・12 月] 基礎ゼミナール

基礎ゼミフロンティア講座はじまる

今年度から経済学部では、「経済学部フロンティア講座」を開講しています。この講座は、社会で活躍する先輩たちを講師に迎え、現在の仕事や社会活動、学生時代に力を入れたことなどを在学生に語っていただくものです。今年度は1年生を対象に、下記のとおり計4回開講しました。失敗を恐れずやりたいことに熱心に取り組んだ先輩たちの経験談は、大学生活を始めたばかりの1年生にとって、大いに刺激となったのではないでしょうか。（森下）

フロンティア講座で講演する弁護士の横山和樹さん

本学部卒業の先輩講師の皆さんの講演を聞く１年生

第1回：株式会社マキ商会代表取締役／小川正人さん「北海学園大学に学ぶということ―― 繋がりの重要性」、第2回：NPO 法人北海道エンブリッジ代表理事／浜中裕之さん「1 ～ 2年生から学ぶ『実践型インターンシップ』」、第3回：片桐企業グループ代表取締役社長／片桐大さん「企業が求めている『人材』とは」、第4回：上野・横山・渡法律事務所／弁護士／横山和樹さん「大学生活の中で私が考えてきたこと、そして現在の活動へのつながり」（上記写真左より）

[平成 29 年 11 月 18 日] 基礎ゼミナール、経済学部ゼミナール協議会主催

経済学部プレゼン大会が開催される

11月18日に、今年で 9回目となる「学内プレゼン大会」が開催されました。この大会は経済学部ゼミナール協議会が主催し、学生主体で運営されています。今年は 9 つの基礎ゼミから 33 チームがエントリーしましたが、残念ながら 2年生以降のゼミの参加はありませんでした。昨年と比べて参加チームが 10 も増えたため、4 つの会場を使って行われました。基礎ゼミでアカデミック・スキルを学ぶ 1年生にとっては、学んだ成果を発表する良い機会となったことでしょう。

発表テーマとしては、「JR 北海道による廃線」や「消費税の増税」のような身近なものから、「貧乏ゆすりがもたらす効果」といったユニークなものまで多岐にわたりました。10分間という短いプレゼン時間の中で、自分たちなりに論点を上手くまとめた発表ができていましたが、プレゼンの仕方としてはまだまだぎこちないものもありました。また例年とは異なり、発表後の質疑応答が活発に行われ、10分間の質疑応答タイムも充実した大会となりました。今後も多くのゼミの参加を期待しています。（宇土）

From a Distance 9

「ジュネーヴの賑わいと日本の人口減少～在外研修から帰国して～」

●小林 淑憲［経済学部教授］

スイス・ジュネーヴ市に足を踏み入れてまず驚かされるのは、満ちあふれる街の活気である。市の人口が20万を超えたのは、ほんの最近、2015年のことなのだそうだ。しかも、パリはもちろんだが、フィレンツェやヴェネツィアに比べても観光資源は決して多いとは言えない。日本で、人口20万の地方都市がこれほどの活況を呈するだろうか。

ジュネーヴ市は、歴史上見過ごすことのできない役割を果たしてきた。古くから司教座が置かれ、中世には大市（定期市）が開かれて、ヨーロッパの経済的中核都市の一つとなった。カルヴァンが16世紀にここで宗教改革を推進し、彼の薫陶を受けた人々がその教えを世界各地に広めた。18世紀にはヴォルテールの居住地として、寛容や人権思想の発信基地となった。現代にいたって第一次大戦後に国際連盟の本部を擁し、連盟解散後は国際連合のヨーロッパ本部を抱えている。いずれも人々の流入を促進する意義を持つ。

現在、20万の住民のうち、実に約40％が外国人である。実際、ありとあらゆる人種やエスニックが入り乱れ、様々な言語が飛び交っている。フランスなどからの越境通勤者（フロンタリエ）が5万人もいる。おかげで、物価が高くなる。スニーカーが一足8,000円くらいする。安めのレストランのランチセットですら2,000円ほどだ。住宅難も非常に厳しいが、物価が高いということは高賃金を意味するので、新参者は増え続けているという。

有能な人材が移住するだけでなく、ジュネーヴでは、続々と流入する移民に高度な技術教育の機会が開かれている。しかも、徹底的なフランス語教育を伴った義務教育は、2018年度から18歳まで延長されるそうだ。これに伝統的な時計産業やチョコレート産業などのブランド力が加わることによって、高度な国際競争力が維持される。

現在、日本は少子化問題やそれに伴う人口減少、地域経済の衰退など数多くの問題を抱えている。昨今、AIの飛躍的発展に期待する向きも多いが、質の高い日本語教育と技術教育を伴った移民政策は、問題解決の一助になるだろう。

ジュネーヴの街並み

econ. No.37　2018. 冬・春号
発行：北海学園大学経済学部　　制作：株式会社 ラボット
〒062-8605札幌市豊平区旭町4丁目1-40　TEL. 011-841-1161（代表）FAX. 011-824-7729
http://econ.hgu.jp/ 北海学園大学エコン 検索　E-mail：kyomu-za@econ.hokkai-s-u.ac.jp
VEGETABLE OIL INK　R100 古紙パルプ配合率100％再生紙を使用